

(理)科(生物)シラバス		3 単位	普通科 第 3 学年 1・2 組 選択者	
年間の到達目標	生命現象と生体物質（遺伝現象とその発現過程にかかわる DNA・酵素、エネルギー代謝における同化・異化のしくみ）について学習し、生命のしくみを理解する。 地球の誕生から、生命の誕生・細菌類への進化・多細胞生物の誕生・上陸の過程での生物進化について学習し、理解する。			
教科書・副教材等	改訂生物（第一学習社）・改訂新生物・スクエア最新図説生物（第一学習社）			
学期	月	学習内容	学習のねらい	
4	4	生物1の復習 1. 遺伝 2. 神経系	メンデル遺伝の再確認。 神経系の再確認。	
		3. 体液	体液の恒常性の仕組みの再確認。	
	5	中間調査範囲 遺伝・神経系・体液 4. 自律神経とホルモン	自律神経とホルモンの働きの詳細について理解する。	
	6	5. 環境と植物	光合成の詳細を理解する。	
	7	期末調査範囲 自律神経とホルモン、環境と植物		
	〔備考〕 関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能表現を授業中の態度や提出物によって学期成績のおよそ20%を評価します。 知識・理解を中間調査・期末調査によって学期成績のおよそ80%を評価します。			
	9	9	第2章 生命現象とたんぱく質 1. 1 物質代謝とエネルギー代謝	同化・異化について理解する。
1. 2 酵素とその特性 2. 1 光合成と葉緑体			たんぱく質の立体構造と酵素活性の関係を学習し理解する。 光合成の詳細を理解する。	
10		3. 呼吸（嫌気呼吸・好気呼吸）	呼吸の詳細について理解する。	
11		中間調査範囲 同化・異化、酵素活性、光合成、呼吸 第1章 遺伝情報とその発現	遺伝子本体DNAの構造・タンパク質の合成・遺伝情報の発現を理解する。 遺伝子組み換え、細胞融合を学習し理解する。	
12		第3章 生物の進化 1. 生命の誕生と生物界の変遷	化学進化、生命誕生、原核生物から真核生物、光合成細菌、生物進を学習し理解する。	
期末調査範囲 遺伝情報とその発現・生命誕生と生物界の変遷				
〔備考〕 関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能表現を授業中の態度や提出物によって学期成績のおよそ20%を評価します。 知識・理解を中間調査・期末調査によって学期成績のおよそ80%を評価します。				
1	1	2. 進化のしくみ	進化論について学習し理解する。	
		2		
		3		
	学年末調査範囲 進化のしくみ			
〔備考〕 関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能表現を授業中の態度や提出物によって学期成績のおよそ20%を評価します。 知識・理解を学年末調査によって学期成績のおよそ80%を評価します。				
評価の観点	内 容		評 価 方 法	
関心・意欲・態度 (5) %	生命現象に関心をもっている。 生命現象を探究する意欲を示している。 生命現象を探究する学習態度を示している。		おもに学習活動への参加のしかたや態度と 観察・実験・実習などの提出物をもとにして評価をします。	
思考・判断 (5) %	さまざまな生命現象を観察して疑問や不思議さを感じる。 さまざまな生命現象を実証的・論理的に考える。 さまざまな生命現象を分析的・総合的に考察する。 さまざまな生命現象を事実に基づいて科学的に判断できる。		おもに学習活動への参加のしかたや態度と 観察・実験・実習などの提出物をもとにして評価をします。 一部は定期調査で評価します。	
観察・実験の技能・表現 (10) %	観察・実験・実習の技能を習得している。 観察・実験・実習を通して科学的に探究する方法を身につけている。 観察・実験・実習の過程・結果・結論を表現している。		おもに学習活動への参加のしかたや態度と 観察・実験・実習などの提出物をもとにして評価をします。 一部は定期調査で評価します。	
知識・理解 (80) %	生物・生命現象について基本的な概念や原理・法則を理解している。 生物・生命現象について基本的な知識を身につけている。		おもに定期調査で評価します。 一部は授業中の小テストや発表内容で評価します。	
〔担当者からのメッセージ〕 授業において忘れ物をしない、遅刻をしない、欠席をしないこと。提出物は期限を守って完成させて提出すること。 よく復習をして定期調査に臨むこと。				